

別表1(第11条第1項)

履修基準表(自己デザイン・共通・専門領域)

領域区分	科目区分	開設科目等	単位	卒業要件単位数		
				必修	選択	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ	2	2		
		教養演習Ⅱ	2	2		
	キャリア創造科目	キャリア形成論	2	2		
		キャリアモデル学習	2		} 2	
		インターンシップ(就業体験学習)	1又は2			
	自己学習プログラム	1又は2				
自己デザイン領域小計				6	2	
共通領域	総合科目		2	2	} 2	
	広域選択科目	人間と文化分野の科目	2	2		
		社会と歴史分野の科目	2	2		
		自然と技術分野の科目	2	2		
	外国語科目	英語 AⅠ	1	2		
		英語 AⅡ	1	2		
		英語以外の外国語 初級Ⅰ・Ⅱ	2	4		
		英語 BⅠ・Ⅱ	1	} 4 注.1		
		英語以外の外国語中級	1			
		応用英語	2	自由選択		
		英語以外の外国語上級	2	自由選択		
	情報教育科目	情報処理Ⅰ～Ⅳ	2	2		
	健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ・Ⅱ	1	2		
スポーツ実習		1	自由選択			
共通領域小計				24	2	
専門領域	人文社会学群共通科目				4 注.2	
	学類基礎科目		2	2		
	専門科目	専攻専門科目	1又は2		34	} 16
		個性形成科目	1～4		6	
		卒業研究科目	1又は4	8		
専門領域小計				10	60	
自由選択領域 ※	自己デザイン・共通・専門の各領域ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目(単位)				20 注.3	
合計				40	84	
				124		

(注)

1. 外国語は英語又は英語以外の一ヶ国語を選択する。
2. 6単位を超えて修得した学群共通科目は卒業要件単位に含めることはできない。
3. 卒業要件単位数の欄に「自由選択」とある科目は、自由選択領域科目として卒業要件単位に計上できる。

別表1（第8条第1項）

行政政策学類履修基準表

領域区分	科目区分		履修年次	分類（※1）	科目単位	要卒単位	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ・Ⅱ	1年	必修	2	4	
	キャリア創造科目	キャリア形成論	1年	必修	2	2	
		キャリアモデル学習	2年以上	選択必修	2	2	
		インターンシップ（就業体験学習）	2年以上	選択必修・自由	1又は2		
	自己学習プログラム	1年以上	選択必修・自由	1又は2			
（小計）						8	
共通領域	総合科目		1年以上	選択必修・自由	2	10 （※2）	
	広域選択科目	人間と文化	1年以上	選択必修・自由	2		
		社会と歴史	1年以上	選択必修・自由	2		
		自然と技術	1年以上	選択必修・自由	2		
	外国語科目	英語AⅠ・AⅡ	英語AⅠ・AⅡ	1年	必修	1	4 （※3）
			英語以外の外国語初級Ⅰ・Ⅱ	1年	必修・自由	2	
		英語BⅠ・BⅡ	英語BⅠ・BⅡ	2年以上	選択必修・自由	1	
			英語以外の外国語中級	2年以上	選択必修・自由	1	
		応用英語	3年以上	自由	2		
	英語以外の外国語上級	3年以上	自由	2			
	情報教育科目	情報処理Ⅰ～Ⅳ	1年以上	選択必修・自由	2	2	
健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ・Ⅱ	1年	必修	1	2		
	スポーツ実習	2年以上	自由	1			
（小計）						26	
専門領域	人文社会学群共通科目		1年以上	選択必修	2	4 （※4）	
	学類専門科目	学類基礎科目	1年以上	選択必修・自由	2	8	
		学類基幹科目	2年以上	選択必修・自由	2	22	
		専攻専門科目	2・3年以上	選択必修・自由	2	22	
	専攻入門科目、演習、卒業研究	専攻入門科目Ⅰ・Ⅱ	2年	必修	2	4	
		演習Ⅰ～Ⅳ	3・4年	必修	2	8	
		卒業研究	4年	必修	4	4	
（小計）						72	
自由選択領域						18	
総計						124	

（注）※1. 「必修」とは、その科目を必ず修得しなければならないことを示す。

「選択必修」とは、指定された複数の科目のうちいずれかを選択して修得しなければならないことを示す。

「選択必修・自由」とは、「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

「自由」とは自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

※2. 総合科目2単位、広域選択科目の3分野各2単位、計8単位を修得した上で、更に総合科目と広域選択科目の中から2単位を修得する（合計10単位）。

※3. 英語BⅠ・BⅡまたは英語以外の外国語中級どちらか一方で4単位修得する。

※4. 4単位を超えて修得した学群共通科目は要卒単位としてはカウントされない。

別表1（第8条第1項、第21条第1号）

## 履修基準

領域区分	科目区分・科目名		履修開始 セメスター	分類 (注1~4)	1科目単位数	要卒単位	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ	1	必修	2	2	
		教養演習Ⅱ	2		2	2	
	キャリア創造科目	キャリア形成論	1	必修	2	2	
		キャリアモデル学習	2	選必	2	2	
		インターンシップ(就業体験学習)	2	選必・自由	1又は2		
自己学習プログラム	1	選必・自由	1又は2				
(小計)						8	
共通領域	総合科目		1	選必・自由	2	10 (注6)	
	広域選択科目	人間と文化	1		2		
		社会と歴史	1		2		
		自然と技術	1		2		
	外国語科目	英語	英語AⅠ	1	必修	1	2
			英語AⅡ	2		1	2
		英語以外の外国語	初級Ⅰ	1	必修・自由	2	2
			初級Ⅱ	1		2	2
		英語	英語BⅠ	3	選必・自由 (注7)	1	4 (注7)
			英語BⅡ	3		1	
		英語以外の外国語	中級	3	自由	1	
		英語	応用英語	5	自由	2	
	英語以外の外国語	上級	5	自由	2		
	情報教育科目	情報処理Ⅰ		1	選必・自由	2	2
		情報処理Ⅱ		1		2	
		情報処理Ⅲ		1		2	
		情報処理Ⅳ		1		2	
健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ		1	必修	1	1	
	健康・運動科学実習Ⅱ		2		1	1	
	スポーツ実習		3	自由	1		
(小計)						26	
専門領域	学類基礎科目	リテラシーⅠ(注5) (学群共通科目)	1	必修	2	8 (4)	
		リテラシーⅡ	2	選必※・自由	2	6	
		リテラシーⅢ	3	選必※・自由	2	10	
		経済英語演習	3	必修	2	2	
	専攻科目	専攻専門科目		4	選必・自由	2	32
		専門演習		4	選必※・自由	2	6 (3科目)
		特別演習		1		2	
		卒業論文演習Ⅰ		7		2	
		卒業論文演習Ⅱ		8	必修	2	2
		特殊講義		1	自由	2	
卒業論文		8	必修	4	4		
(小計)						70	
自由選択領域						20	
全体	(総計)					124	

- (注) 1. 「選必」とは同じ科目区分内で選択必修となること、「自由」とは自由選択領域科目として卒業要件単位数に計上できることを示す。
2. 「必修・自由」とは、必修の要件単位を超えて修得した単位を自由選択領域に計上できることを示す。
3. 「選必・自由」とは、同じ科目区分内で選択必修の要件単位を超えて修得したものを自由選択領域に計上できることを示す。
4. 「選必※・自由」の※は、選択必修の要件単位を超えて修得したものを専攻専門科目として計上できることを示す。また、専攻専門の必要単位数を満たしている場合は、自由選択領域に計上できる。
5. 学群共通科目は、リテラシーⅠの区分中、科目指定をせず2科目4単位を充てる。また、他学類開設の学群共通科目については、受講して単位修得は可能だが、要卒単位には計上されない。(自由選択科目にもならない。)
6. 総合科目と広域選択科目3分野をあわせた4分野にわたって、それぞれ最低1科目(2単位)合計8単位を修得した上で、残りの2単位は4分野のいずれかから1科目を修得し、全体で10単位とすること。
7. 「英語BⅠ・英語BⅡ」又は「英語以外の外国語中級」の1言語4単位を修得する。
8. 編入学生(日本国籍を有しない者)については、「英語以外の外国語」に関して、日本語の履修を認めることがある。

理工学群共生システム理工学類履修基準表

領域区分	科目区分		履修年次	分類	1科目 単位数	卒業要件 単位数
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ	1年	必修	2	4
		教養演習Ⅱ	1年	必修	2	
	キャリア創造 科目	キャリア形成論	1年	必修	2	2
		キャリアモデル学習	2年以上	選必	2	
		インターンシップ(就業体験学習)	2年以上	選必・自由	1又は2	
自己学習プログラム	1年以上	選必・自由	1又は2			
	(小計)					8
共通領域	総合科目		1年以上	選必・自由	2	10 (注1)
	広域選択科目	人間と文化	1年以上	選必・自由	2	
		社会と歴史	1年以上	選必・自由	2	
		自然と技術	1年以上	選必・自由	2	
	外国語科目	英語AⅠ	1年	必修	1	4
		英語AⅡ	1年	必修	1	
		英語以外の外国語初級Ⅰ	1年	必修・自由	2	4
		英語以外の外国語初級Ⅱ	1年	必修・自由	2	
		英語BⅠ	2年以上	選必・自由	1	4 (注2)
		英語BⅡ	2年以上	選必・自由	1	
		英語以外の外国語中級	2年以上	選必・自由	1	
		応用英語	3年以上	自由	2	
	情報教育科目	情報処理Ⅰ	1年以上	選必・自由	2	2
		情報処理Ⅱ	1年以上	選必・自由	2	
		情報処理Ⅲ	1年以上	選必・自由	2	
	健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ	1年	必修	1	2
		健康・運動科学実習Ⅱ	1年	必修	1	
スポーツ実習		2年以上	自由	1		
	(小計)					26
専門領域	学群共通科目		1年以上	必修	2	2
			1年以上	選必・自由	2	4
	学類基礎科目	学類基礎科目A	1年以上	必修	2	6
		学類基礎科目B	1年以上	選必・自由	2	2
		学類基礎科目C	1年以上	選必・自由	2	2
		学類基礎科目D	1年以上	選必・自由	2	2
		学類基礎科目E	1又は2年以上	選必・自由	2	6
	専攻基礎科目		2年以上	必修	2	0又は6(注3)
			2又は3年以上	選必・自由	2	8又は2(注4)
	専攻実践科目		2年以上	必修	2	2
			2又は3年以上	選必・自由	1又は2	8
	専攻専門科目		2又は3又は4年	選必・自由	2	30
	文理融合科目		1又は2又は3年以上	選必・自由	2又は4	6
演習		3又は4年	必修	2	4	
卒業研究		4年	必修	2	4	
	(小計)					86
自由選択領域						4
全体	(総計)					124

(注) ※ 「選必」とは選択必修を、「自由」とは自由選択領域科目として卒業要件単位数に計上されることを示す。「選必・自由」は、選択必修の卒業要件を超過して修得した単位を自由選択領域に計上することができることを示す。

- 「総合科目」2単位、「広域選択科目」の3分野各2単位、計8単位を修得し、さらに「総合科目」と「広域選択科目」の中から2単位を修得するものとする。
- 「英語BⅠ・BⅡ」又は「英語以外の外国語中級」のどちらか一方で4単位を修得するものとする。
- 人間支援システム専攻及び産業システム工学専攻では、必修の専攻基礎科目は開講しない。環境システムマネジメント専攻では、必修の専攻基礎科目を6単位修得するものとする。
- 人間支援システム専攻及び産業システム工学専攻では、選択必修の専攻基礎科目を8単位修得するものとする。環境システムマネジメント専攻では、選択必修の専攻基礎科目を2単位修得するものとする。

現代教養コース履修基準表

別表1

領域区分	科目区分		履修年次	分類	1科目単位数	要卒単位	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ	1	必修	2	2+2=4	
	基本科目	教養演習Ⅱ	1	必修	2		
		キャリア創造科目	キャリア形成論	1	必修	2	2
	(小計)						6
共通領域	現代教養科目		人間と文化	1~4	選必・自由	2	2×5=10
			社会と歴史	1~4	選必・自由	2	
			自然と技術	1~4	選必・自由	2	
	外国語科目	英語	英語	1	選必・自由	1	英語または非英外国語どちらか一方で4
		英語以外の外国語	英語以外の外国語初級Ⅰ	1	選必・自由	2	
			英語以外の外国語初級Ⅱ	1	選必・自由	2	
	情報教育科目		情報処理Ⅰ	1	自由	2	
	健康・運動科目		健康・運動科学実習Ⅰ	1	必修	1	1+1=2
健康・運動科学実習Ⅱ			1	必修	1		
(小計)						16	
専門領域	専門科目		1~4	選必・自由	2	40	
	基礎演習		2	必修	2	4	
	専門演習		3~4	必修	2	8	
	卒業研究		4	必修	4	4	
	(小計)						56
自由選択領域						46	
全体	(総計)					124	

- (注) 1 現代教養科目は各分野から2単位以上、計10単位を計上しなければならない。  
 2 「自由選択領域」には、分類欄の「自由」と表記されている科目から卒業要件単位を超えて修得した単位を計上する。  
 3 「健康・運動科学実習」は、特別な事情があると認められた場合、「現代教養科目」、「外国語科目」及び「情報教育科目」で代替することができる。  
 4 「英語以外の外国語初級」は、週2回履修(セット履修)となる。  
 5 「外国語科目」の卒業要件は、「英語」又は「英語以外の外国語初級」のいずれかで4単位を修得するものとする。  
 6 卒業要件を超えて修得した現代教養科目のうち指定された科目は専門科目に計上することができる。

別表2-1 (第7条) 履修基準 (教職教育専攻・地域文化創造専攻)

区分	単位数	
	教職教育専攻	地域文化創造専攻
専攻共通科目	2	2
領域共通科目	2	2
専攻専門科目	14	14
課題研究	4	4
専門演習	4	4
自由選択	4	
領域間連携科目		4
計	30	30

備考 教職教育専攻については、修了要件単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できる。

別表2-2 (第7条) 履修基準 (学校臨床心理専攻)

区分	臨床心理領域		学校福祉臨床領域	
	単位数		単位数	
基礎論	6～8	計12	6～8	計12
方法論	4～6		4～6	
実践論	8		6	
実践研究Ⅰ・Ⅱ	2		2	
課題研究Ⅰ・Ⅱ	2		2	
自由選択	6		8	
計	30		30	

備考1 「実践研究Ⅰ・Ⅱ」及び「課題研究Ⅰ・Ⅱ」についての履修方法は、それぞれの区分に応じ、ⅠまたはⅡのいずれかを選択履修する。

備考2 修了要件単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できる。

別表 2

履 修 基 準

区分	基準	分類	修了要件単位数
必修	履修分野の演習 -	必修	8
	学位論文 (またはそれに替わるもの)	必修	6
基盤科目	基礎的な科目群から 1 科目以上	選択必修・自由	2
選択必修	履修分野の任意の科目から 1 科目	選択必修	2
応用科目	応用的な科目群から 1 科目以上	選択必修・自由	2
自由科目	その他すべてから 5 科目以上	自由	10
計			30

但し、一年修了型の履修基準は下表のとおりとする。

区分	基準	分類	修了要件単位数
必修	履修分野の演習 -	必修	4
	副演習 -	必修	4
	特定課題研究	必修	6
基盤科目	基礎的な科目群から 1 科目以上	選択必修・自由	2
選択必修	履修分野の任意の科目から 1 科目	選択必修	2
応用科目	応用的な科目群から 1 科目以上	選択必修・自由	2
	(特定課題研究報告書提出のため)	(必修)	(4)
自由科目	その他すべてから 5 科目以上	自由	10
計			30+(4)

【備考】

基盤科目とは、地域政策科学入門・行政政策学類専門科目(研究指導教員が認めた場合)・事前指導(一年修了型適用者のみ)をいう。研究指導教員が認めた場合、基盤科目は自由科目で代替することが出来る。行政政策学類専門科目を修了要件に含める場合は上限を 4 単位とする。

応用科目とは、地域特別研究・副演習・特殊研究(一年修了型適用者のみ)をいう。

基盤科目及び応用科目で、修了要件単位数を超えて修得した単位は、自由科目に読み替える。

「自由」とは自由科目として修了要件単位数にカウントされることを示す。

【一年修了型の特例事項】

副演習の、で、演習、に替える。学位論文は特定課題研究で替える。

特定課題研究の報告書等の提出には、応用科目の修了要件として必要な 2 単位とは別に、応用科目 4 単位分の受講を前提とする。この 4 単位分は修了要件の単位数には含めることができない。

別表2 (第7条)  
履修基準表

科目区分	科目	セメスター	単位数	要修了単位数	
				課題研究 コース	修士論文 コース
専門科目	特殊研究	1~4	2	15~ <sup>①</sup>	15~
	特講		1~2	17~ <sup>②</sup>	
				19~ <sup>③</sup>	
語学科目	特設外国語	1~4	2	0~4	
A.専門科目・語学科目単位合計				19~ <sup>①</sup> 21~ <sup>②</sup> 23~ <sup>③</sup>	19~
演習科目	入門演習	1	1	1	
	実践演習	2	2	2	/
	課題演習	3~4	2	4 <sup>①②</sup> 2 <sup>③</sup>	
	修論演習	2~4	2	6	
修了研究	課題研究	3~4	2	4 <sup>①</sup> 2 <sup>②③</sup>	/
	修士論文	4	4	4	
B.演習科目・修了研究単位合計				11 <sup>①</sup> 9 <sup>②</sup> 7 <sup>③</sup>	11
C.要修了単位合計(A+B)				30	

- 履修が認められた他研究科および他大学院(外国の大学院を含む)での授業科目、ならびに、入学前の既修得認定単位は、合計10単位まで「要修了単位」に含めることができる。ただし学類の授業科目は、履修が認められた場合であっても要修了単位に含めることはできない。
- 課題演習と課題研究には、3つの組み合わせがある(①課題演習計4単位&課題研究計4単位；②課題演習計4単位&課題研究計2単位；③課題演習計2単位&課題研究計2単位)。  
履修基準表の①②③は、これらの組み合わせに対応している。
- 2年を超えて在籍する場合(長期履修等)、修論演習で6単位、課題演習で4単位を超えた分は、要修了単位に含めることができない。



## 履修基準（博士前期課程）

## 共生システム理工学研究科

区 分	基 準	単位数
必 修	修士論文研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6 単位
選択必修	所属分野の基礎領域に含まれる授業科目	6 単位
	所属分野の発展領域に含まれる授業科目	6 単位
自由選択	選択必修科目として選択していない科目 又は他研究科等の授業科目	12 単位
最低修得単位数合計		30 単位

※上記を修得し、本大学院が行う修士論文の審査に合格すること。

## 履修基準（博士後期課程）

区 分	基 準	単位数
必 修	所属する領域の「専門科目」5科目10単位、「特別研究」6単位、計16単位修得	16 単位
選択必修	共通科目に含まれる授業科目のうち共通科目A（「共生システム特別講究」「人科学特別講究」のうち1科目必修）及び共通科目B（「工場管理特別演習」「研究開発企画演習」「イノベーション演習」のうち1科目必修）	4 単位
最低修得単位数合計		20 単位

※上記を修得し、本大学院が行う博士論文の審査に合格すること。